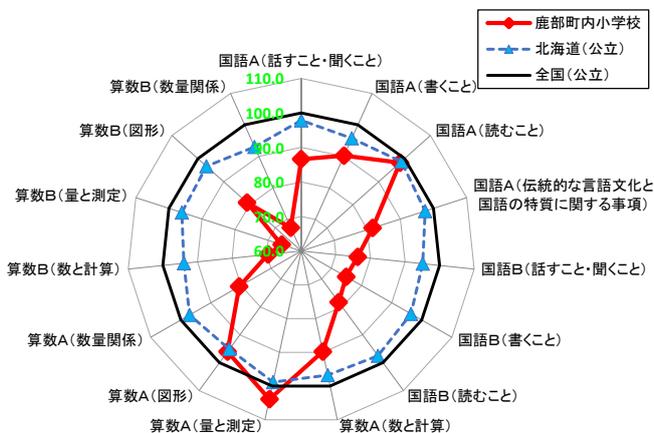


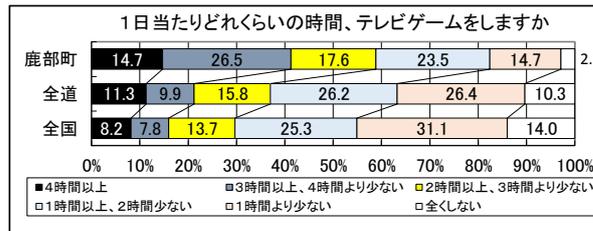
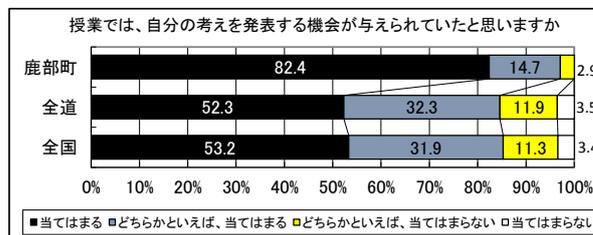
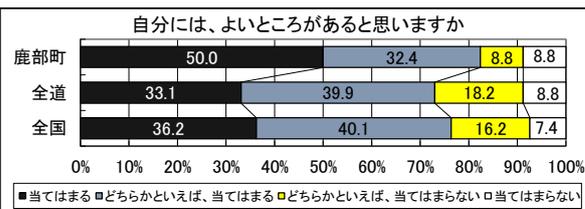
# 鹿部町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:1、児童数:35名)

## 【教科全体の状況】

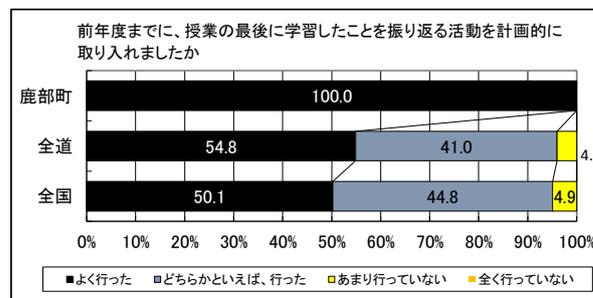
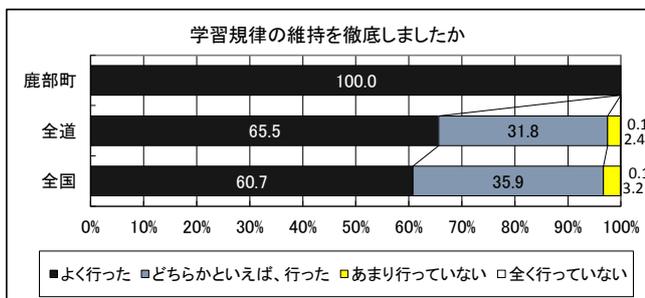
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの  
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



## 【児童質問紙調査】



## 【学校質問紙調査】



## 【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> <li>国語Aでは、「読むこと」で、全道とほぼ同様になっている。</li> <li>算数Aでは、「量と測定」で、全国を上回り、「図形」で、全道を上回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習規律の維持の徹底を行ったり、学習の振り返りを計画的に行った結果、基礎的な学力が向上し、算数Aにおいて、「量と測定」で、全国を上回ったと考えられる。</li> </ul>
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>「自分には、よいところがあると思う」「授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思う」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1日当たり、テレビゲームをする時間が2時間以上と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っていることから、望ましい生活習慣の確立について見直す必要がある。</li> </ul>
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習規律の維持の徹底をよく行っている。</li> <li>授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れることをよく行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えを発表する機会を計画的に与えた結果、児童の自己肯定感が高まり、「自分にはよいところがある」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回り、児童一人一人の学校生活の充実につながっていると考えられる。</li> </ul>

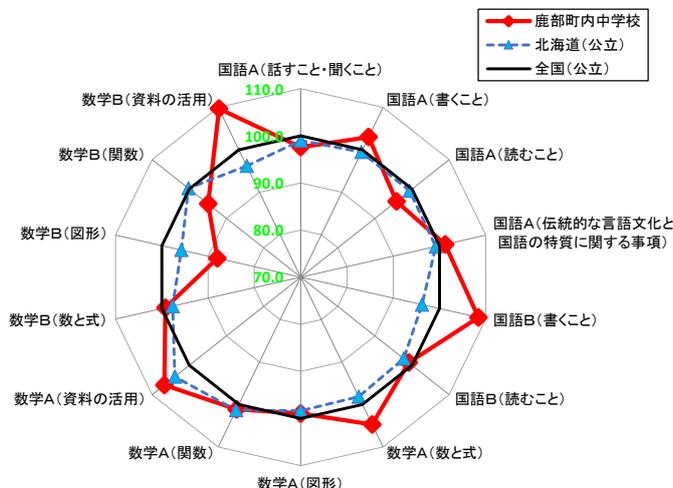
## 【鹿部町の学力向上策】

- ◎ 校内組織である学力向上委員会が中心となった基礎学力の定着に向けた「学び合う学習」及び放課後の補足的な学習サポートの実施
- ◎ 鹿部町教育研究所における幼稚園、小・中学校の連携の強化
- ◎ コミュニティ・スクールの取組による地域全体で子どもたちを育てていく体制の整備
- ◎ 外部人材を活用した長期休業中の補足的な学習サポートの実施

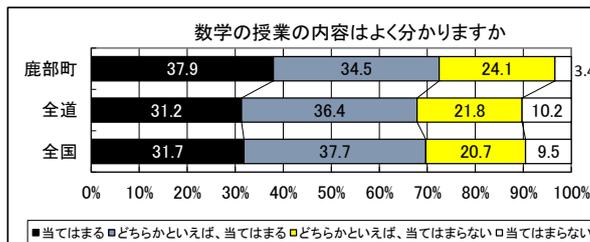
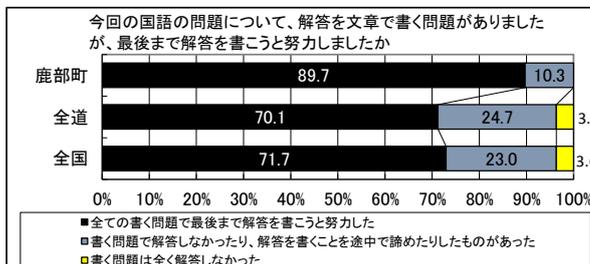
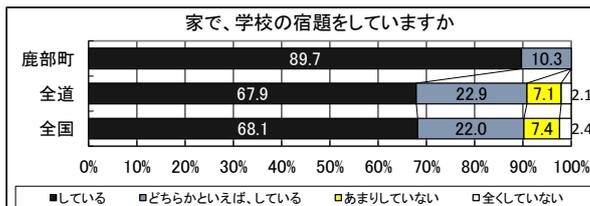
# 鹿部町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1、生徒数:29名)

## 【教科全体の状況】

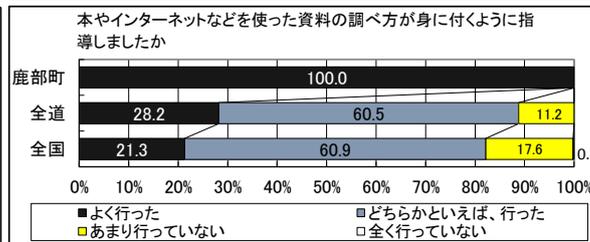
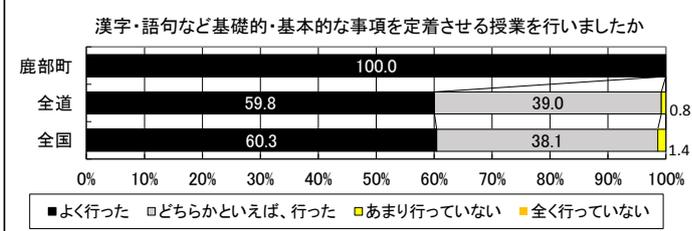
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの  
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



## 【生徒質問紙調査】



## 【学校質問紙調査】



## 【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国語A・Bにおいて、全道の平均正答率を上回っている。</li> <li>○ 国語Aでは、「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、Bでは、「書くこと」で、全国を上回っている。</li> <li>○ 数学Aにおいて、全国の平均正答率を上回っている。</li> <li>○ 数学Aでは、「数と式」「関数」「資料の活用」、Bでは、「資料の活用」で、全国を上回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国語の指導において、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる指導を行ったり、家庭学習の課題の与え方について教職員で共通理解を図って実践した結果、学力の向上が図られたと考えられる。</li> </ul>
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「家で、学校の宿題をしている」「数学の授業の内容はよく分かる」「国語の問題について、最後まで解答を書こうと努力した」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本やインターネットなどを使った資料の調べ方を身に付ける指導を行った結果、自ら課題を見付け、積極的に課題を解決する態度が向上したと考えられる。</li> <li>○ 数学Bにおいて、小学校と同様「図形」領域に課題が見られるため、小・中学校が連携した課題の解決に向けた授業改善を進める必要がある。</li> </ul>
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業をよく行っている。</li> <li>○ 本やインターネットなどを使った資料の調べ方が身に付く指導をよく行っている。</li> </ul>	

## 【鹿部町の学力向上策】

- ◎ 校内組織である学力向上委員会が中心となった基礎学力の定着に向けた少人数学習及び昼休み、放課後の学習サポートの実施
- ◎ 授業改善に直結する組織的な校内研修の推進による生徒の資質や能力の向上の実現
- ◎ 鹿部町教育研究所における幼稚園、小・中学校の連携の強化
- ◎ コミュニティ・スクールの取組による地域全体で子どもたちを育てていく体制の整備
- ◎ 外部人材を活用した長期休業中の学習サポートの実施